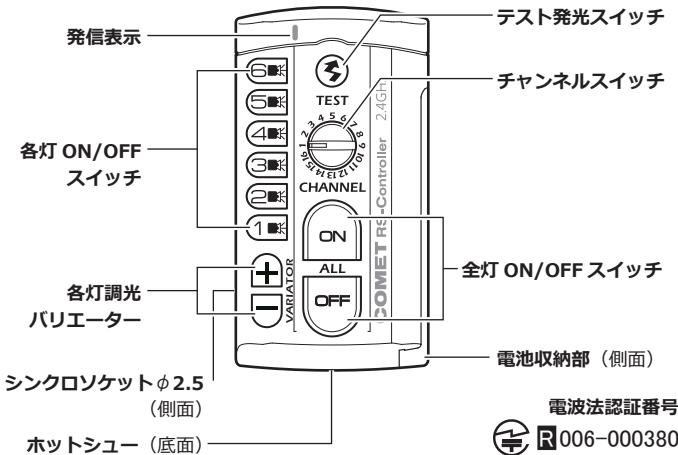


## ■ RS- コントローラー (RS-Controller) 各部の名称

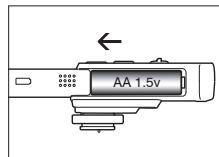


セット内容

- RS-Controller
- RS-Tシンクロコード
- 単3形乾電池(1.5V) × 1本
- マニュアル(本書)
- 保証書

## ■ RS- コントローラーの設定

① 電池収納部に単3形乾電池（1.5V）をセットします。  
電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。

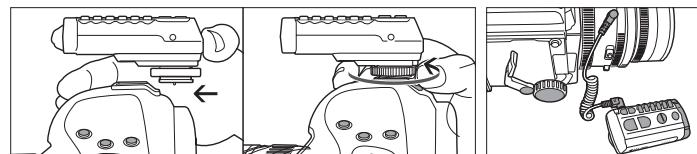


※充電式電池（1.2V）は使用できません。

※電池残量が少なくなると RS- コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、無線シンクロの不発が起きます。このような場合は新しい電池に交換してください。

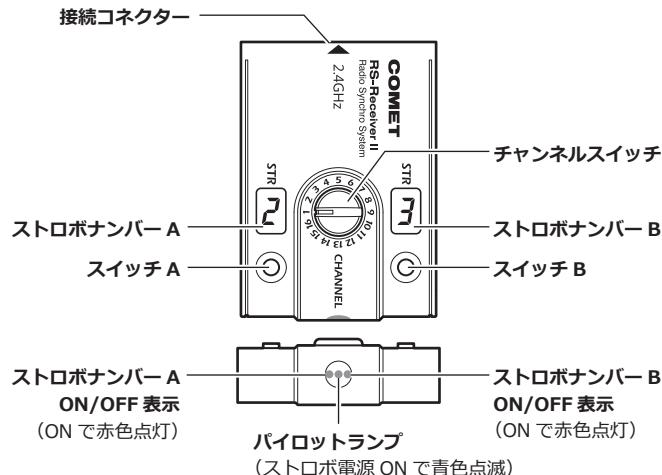
② コントローラー底面のホットシューをカメラのアクセサリーシューに差し込み、固定リングを締めます。

シンクロターミナル内蔵のカメラの場合は、付属のシンクロコードで側面のシンクロソケット（φ 2.5）と接続します。



③ RS- コントローラーと RS- レシーバー II のチャンネルスイッチ (CHANNEL) を同じチャンネルに設定してください。

## ■ RS- レシーバー II (RS-Receiver II) 各部の名称



## ■ RS- レシーバー II の設定

- ① ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にして RS- レシーバー II を取り付けます。
- ② ストロボ本体のメインスイッチを「ON」にしてください。

RS- レシーバー II のストロボナンバーが表示されます。

※ストロボナンバー B を使用しない機種の場合、ストロボナンバー B を OFF (消灯) してください。

スイッチ B を 2 秒間長押しすることでストロボナンバー B を ON/OFF (消灯) します。

③ ストロボ本体のフォトセルスイッチ (P.CELL) を「OFF」にしてください。

④ RS- コントローラーを使用した同調テストをします。

RS- コントローラーのテスト発光スイッチを押します。

RS- コントローラーからの信号を正常に受信するとストロボが発光します。

⑤ RS- レシーバー II のスイッチ A または B を押してそれぞれのストロボナンバーを 1 ~ 6 に設定します。スイッチを 1 回押すごとに 1 から 6 まで 1 つ送りに表示が切り替わります。

※スイッチ A を押すと

数字が 1 つ送られて、  
そのまま 2 秒間押し  
続けると、数字の表示  
方向が上下切り替わります。



●同じストロボナンバーを 2 台以上の RS- レシーバー II に設定しないでください。  
RS- コントローラーは各チャンネルごとに最大 6 灯操作可能です。

## 【ご注意】

- 無線シンクロ装置（弊社製）の使用方法につきましては、各製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。  
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。  
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。  
(使用周波数：2.427GHz～2.457GHz)
- 無線シンクロ装置（弊社製）を RS-コントローラーまたは、RS-レシーバーIIと併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のように設定してください。  
無線シンクロ装置 RS-発信器（RS-Transmitter）、RS-受信器（RS-Receiver）付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。
- RS-受信器をストロボ本体とシンクロコードで接続して使用する場合、RS-レシーバーIIをストロボ本体から取り外してください。

## ■ RS-コントローラーの操作方法

RS-コントローラーのチャンネル数は16チャンネルです。

RS-レシーバーII（別売）、無線シンクロ装置（RS-受信器、RSミニレシーバー、RX-2受信器）（別売）に対応するチャンネルに設定することで無線シンクロ発光が可能です。また、RS-レシーバーIIを接続したストロボは各チャンネル最大6灯までのワイヤレス操作が可能です。

●RS-コントローラーの動作距離は見通しの良い場所で30m以内です。

●RS-コントローラーは複数のボタンを同時に操作できません。複数のボタンを同時に操作した場合、ストロボ本体が誤動作する恐れがあります。

●RS-コントローラーは5秒間操作しないと、スリープモードになります。

## ■全灯ストロボのON/OFF

## ●全灯ストロボのON

RS-コントローラーの全灯ONスイッチ（ALL-ON）を押すと、同じチャンネルのストロボが一括ONします。このとき、ストロボ電源部の表示に出力設定値が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レシーバーIIのストロボON/OFF表示（赤）が点灯します。

## ●全灯ストロボのOFF

RS-コントローラーの全灯OFFスイッチ（ALL-OFF）を押すと、同じチャンネルのストロボが一括OFFします。

このとき、ストロボ電源部の出力表示に「OFF」が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レシーバーIIのストロボON/OFF表示（赤）が消灯します。

※ストロボ電源部のサウンドモード（SOUND）がOFFのとき、ブザー音は鳴りません。

## ■各灯ストロボのON/OFF

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ（1～6）を2秒間長押しすると、個別にストロボをON/OFFすることができます。

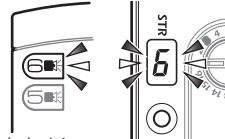
## 【ご注意】

RS-コントローラーでストロボ本体を全灯OFFまたは、各灯OFF操作をしてもストロボ本体のメイン電源は「OFF」になりません。ストロボ電源部を長時間ご使用にならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチ（MAIN）を「OFF」にしてACコードをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどをOFFにしてください。

## ■各灯ストロボの調光

①調光するストロボを選択します。

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチを押すと、スイッチが点滅し、該当するRS-レシーバーIIのストロボナンバーが点滅します。



※ストロボを「OFF」にした状態で、ストロボの調光はできません。

調光する前に、RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチでストロボを「ON」にしてください。

②RS-コントローラーの調光バリエーター（VARIATOR+/-）を押してストロボを調光します。1回押すとストロボ電源部の調光ステップで調光され、ブザー音が1回鳴ります。長押しすると1EVステップで調光されます。  
調光範囲を超えるとブザー音が2回鳴ります。

③調光が完了したら、各灯ON/OFFスイッチ（1～6どれでも）を押すと、スイッチのランプが消灯し、ストロボの選択が解除されます。

スイッチの選択は、操作しないままで約5秒経過しても解除されます。

## ■テスト発光

テスト発光スイッチ（TEST）を軽く押すと、同じチャンネルのストロボが発光します。

■仕様		品名	RS-Controller
型式			RS-CNTR
使用周波数			2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数			16CH
各灯スイッチ			6
動作距離			30m以内
送信LED			有り（発光、全灯ON信号送信時に点灯）
テスト発光スイッチ			有り
ストロボ調光			各灯スイッチで灯体を選択、+/-ボタンによる
ストロボON/OFF			全灯：ON/OFFスイッチで全灯ON/OFF 各灯：各灯スイッチ長押しで各灯ストロボON/OFF
使用電池			単3形乾電池（1.5V）1本
寸法			43(w)×38(h)×81(d)mm
重量			45g
品名		RS-Receiver II	
型式			RS-R-2
使用周波数			2.427GHz-2.457GHz
チャンネル数			16CH × 6灯
動作距離			30m以内
灯体識別表示			7セグメント（1桁）×2回路
寸法			43(w)×61.5(h)×13(d)mm
重量			20g

●本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。この仕様は2016年5月現在のものです。

#### 無線コントロール装置と無線シンクロ装置を併用される際のご注意

## 無線コントロール装置



RS-コントローラー

## 無線シンクロ装置



RS-発信器



RS-受信器



RX-2受信器

無線コントロール装置（RS-コントローラーまたは、RS-レシーバーⅡ）と無線シンクロ装置を併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを下記「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のスイッチポジションに設定してください。無線シンクロ装置 RS-発信器、RS-受信器付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。

**COMET**®コメット株式会社  
[www.comet-net.co.jp](http://www.comet-net.co.jp)

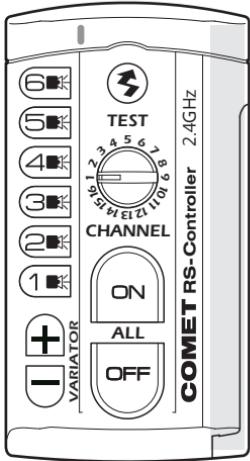
〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1  
TEL (03)5916-5785 FAX (03)5916-5871

#### ●無線シンクロ装置とのチャンネル対応表

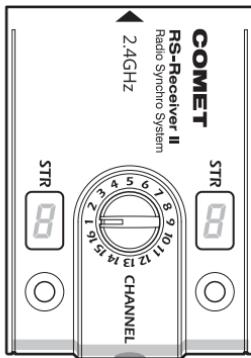
<b>チャンネルナンバー</b>	<b>1CH</b>	<b>2CH</b>	<b>3CH</b>	<b>4CH</b>	
RS-コントローラー RS-レシーバーⅡ					
RS-発信器 RS-受信器 RSミニレシーバー RX2受信器	<b>スイッチ ポジション</b>	ON 1 2 3 4	ECE	ON 1 2 3 4	ECE
<b>5CH</b>	<b>6CH</b>	<b>7CH</b>	<b>8CH</b>	<b>9CH</b>	<b>10CH</b>
					
ON 1 2 3 4					
ECE	ECE	ECE	ECE	ECE	ECE
<b>11CH</b>	<b>12CH</b>	<b>13CH</b>	<b>14CH</b>	<b>15CH</b>	<b>16CH</b>
					
ON 1 2 3 4					
ECE	ECE	ECE	ECE	ECE	ECE



## RS-コントローラー／RS-レシーバーII 使用上のご注意



RS-コントローラー



RS-レシーバーII

- RS-コントローラー、RS-レシーバーIIは無線LANなどと同様に、2.4GHz帯の周波数を使用しています。このような無線機器を使用する環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。  
受信不良が起きた場合は、チャンネルを変更して同調テストをおこなってからご使用ください。(使用周波数：2.427GHz～2.457GHz)
- RS-コントローラーから複数のRS-レシーバーII(ストロボ)を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。  
RS-コントローラーでRS-レシーバーIIを接続したストロボを操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映(受信)されていることをご確認ください。

**COMET**<sup>®</sup>

コメット株式会社

〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1 TEL (03)5916-5785 FAX (03)5916-5871